

環境計画学科 環境・建築デザイン専攻

1. 受賞

- 柴田いづみ, 柴田知彦 (2006) エルザ世田谷 (集合住宅) 環境共生住宅認定.
- 布野修司 (2006) 日本都市計画学会論文賞 (『近代世界システムと植民都市』, 京都大学学術出版会, 2005年).
- 松岡拓公雄他 2 名 (2006) 日本建築学会作品選奨 2006, 札幌市, ガラスのピラミッド.
- 松岡拓公雄他 2 名 (2006) 日本建築学会作品選 2006, 札幌市, ガラスのピラミッド.

2. 著書

- 藤原悌三, 布野修司, 共編著 (2006) 安全・快適・まちづくり 滋賀県立大学環境科学部.
- 柴田いづみ, 柴田知彦, 以下21名共著 (2006) 「まちへ」 日刊建設通信新聞社, 東京.
- 水原 渉, 他 (編) (2006) 小泉「構造改革」と自律の地域づくり ~ 持続可能な滋賀を求めて ~ , 2006.03, 滋賀自治体問題研究所.
- 布野修司 (2006) 『曼荼羅都市—ヒンドゥー都市の空間理念とその変容—』, 京都大学学術出版会, 2006年2月28日, 単著.
- 布野修司 (2006) 『建築家前川國男の仕事』, 生誕100年前川國男建築展実行委員会, 美術出版社, 2006年4月, 共著.
- 布野修司 (2006) 『『室内』の52年 山本夏彦が残したもの』, INAX出版, 2006年9月15日, 共著.
- 布野修司 (2006) 『前川國男 現代との対話』, 松隈洋編, 六曜社, 2006年10月, 共著.
- 布野修司 (2006) 『都市の暮らしの民俗学3 都市の生活リズム』, 新谷尚紀, 岩本通弥編, 吉川弘文館, 2006年12月, 共著.
- 布野修司 (2006) 『地域から——私の美し国づくり』, 日刊建設通信社, 2006年12月, 共著.
- 松岡拓公雄他 (2006) 「団地再生まちづくり」, 水曜社.
- 日本建築学会編 (2006) 建築デザイン学事典, 高柳英明, 第14章, 井上書院, 東京.
- 日本建築学会編 (2006) 建築・都市計画のための空間学事典[改定版], 高柳英明, 第9章「ダイアグラム, CG」, 井上書院, 東京.
- 平尾和洋・末包伸吾編著 (2006) テキスト建築意匠, 山本直彦, 3章「戦後日本の建築」および7章「建築のかたち」, 学芸出版社, 京都.

3. 論文 (学会誌およびそれに準じる学術, 技術雑誌およびプロシーディングに掲載されているもの)

- 韓勝旭, 布野修司, リムボン (2006) 土地所有関係の変遷から見る在日コリアン集住過程の形成過程に関する研究, 日本建築学会計画系論文集, 第599号, pp95-101, 2006年1月.
- ナウィット・オンサワンチャイ, 桑原正慶, 布野修司 (2006) アユタヤ旧市街の居住環境特性とショップハウスの類型に関する研究, 日本建築学会計画系論文集, 第601号, pp25-31, 2006年3月.
- 池尻隆史, 安藤正雄, 布野修司, 山根周, 片岡巖 (2006) ネイティブタウン (インド, ムンバイ) におけるチョールの類型に関する研究, 日本建築学会計画系論文集, 第603号, pp37-44, 2006年5月.
- 柳沢究, 大辻絢子, 布野修司 (2006) マドゥライ (タミル・ナードゥ州, インド) の都市形成と棲み分けの構造, 日本建築学会計画系論文集, 第605号, pp93-99, 2006年7月.
- Nawit Ongsavangciiai, Shuji Funo (2006) Spatial Organization of Shop house in Market towns in the Central Plains of Thailand, J. Archit. Plann. AIJ, No. 606, pp9-16, Aug, 2006.
- 山田協太, 前田昌弘, 村上和, 布野修司 (2006) ヴォルフエンダール (コロンボ, スリランカ) の街区構成と住居類型に関する考察, 日本建築学会計画系論文集, 第607号, pp71-78, 2006年9月.
- 趙聖民, 布野修司, 韓三建 (2006) 日本植民統治期における韓国密陽・三浪津邑の都市形成と土地所有変化に関する考察—旧日本人町に着目して—, 日本建築学会計画系論文集, 第607号, pp79-86, 2006年9月.
- 山田協太, 布野修司 (2006) オランダ東インド会社 (VOC) によるフォート・コーチン (ケーララ, インド) の再編に関する考察, 日本建築学会計画系論文集, 第608号, pp81-87, 2006年10月.
- 陶器浩一, 源田考司, 北村義也 (2006) : ガラス制振壁を用いた伝統木造建物の耐震改修, 日本建築学会技術報告集 2006.12
- 今村広太, 村上修一 (2006) アクセシビリティからみた琵琶湖湖岸緑地と隣接集落とのつながりについての研究 (査読付), ランドスケープ研究 Vol.69 (5), 623-626.
- 表谷篤慶, 村上修一 (2006) 棚田景観観賞のための空間条件に関する研究, 都市計画報告集, Vol.4-4, pp.91-94.
- 松本浩平, 村上修一 (2006) モノレール遺構の都市景観における位置づけに関する研究, 都市計画報

- 告集, Vol.4-4, pp.95-98.
- 村上修一 (2006) 歴史的頭首工の親水空間としての可能性—桂川一の井堰の利用観察調査をとおりて, 都市計画報告集, Vol.5-2, pp.59-62.
- 村上修一 (2006) 歴史的頭首工の親水空間としての可能性—仁淀川八田堰の利用観察調査をとおりて, 都市計画報告集, Vol.5-3, pp.82-85.
- 富島義幸 (2006) 「平泉柳之御所遺跡の建築についての一考察」, 岩手県教育委員会『平泉文化研究年報』第6号 (2006年3月), 1-10頁.
- 富島義幸 (2006) 「平泉建築の復元—考証と課題—」, 宮城歴史科学研究会『宮城歴史科学研究』第60号 (2006年7月), 38-52頁.
- 富島義幸 (2006) 「推定中川寺成身院指図について」, 醍醐寺文化財研究所『研究紀要』第21号 (法蔵館, 2006年10月), 199-228頁.
- 富島義幸 (2006) 「京都国立博物館蔵『高野山水屏風』にみる大伝法院関係の伽藍・建築」, 根来寺文化研究所『根来寺文化研究所紀要』第3号 (2006年10月), 1-2, 11-20頁.
- 高柳英明, 長山淳一, 渡辺仁史 (2006) 歩行者の最適速度保持行動を考慮した歩行行動モデル-追従相転移現象に基づく解析数理-, 日本建築学会計画系論文集No606: 63-70
- 廣川祐子, 高柳英明, 服部岑生, 鈴木雅之 (2006) 大学キャンパスにおけるリフレッシュ空間の創造に関する研究-ベンチを用いた歩行実験に基づくデザインシミュレーション-, 日本建築学会大会学術講演梗概集E-1: 367-368
- 小島尚人, 後藤信, 高柳英明, 服部岑生 (2006) 大規模小売店舗におけるマクロ流動制御手法に関する研究その1-利用客行動調査とモデル構築について, 日本建築学会大会学術講演梗概集E-1: 491-492
- 後藤信, 小島尚人, 高柳英明, 服部岑生 (2006) 大規模小売店舗におけるマクロ流動制御手法に関する研究その2-シミュレーション構築とマクロ流動制御手法の検討, 日本建築学会大会学術講演梗概集E-1: 493-494
- 山田悠子, 高柳英明, 服部岑生 (2006) 地下歩行空間における雑踏制御とそのデザイン・シミュレーション, 日本建築学会大会学術講演梗概集E-1: 1093-1094
- 飯塚勤, 森藤章光, 高柳英明, 服部岑生 (2006) 駅空間の歩行者流動内における時系列視環境評価に関する研究その1, 日本建築学会大会学術講演梗概集E-1: 1101-1102
- 東秋沙, 服部岑生, 中山茂樹, 高柳英明, 吉岡陽介 (2006) 近年の団地再生における環境資産の継承を目指す計画手法, 日本建築学会大会学術講演梗概集E-2: 123-124
- 山本直彦, 牧紀男 (2006) バンダアチェ市 (インドネシア) におけるスマトラ沖地震後の復興住宅の初期供給プロセス, 日本建築学会大会学術講演梗概集 (経済・住宅) F-1分冊, 1121-1122.
- 石塚祐至, 小澤雄樹, 山本直彦, 柳沢究, 平尾和洋, 井上真澄 (2006) 伝統的左官技術を用いた薄肉楕円体シェル構造の開発 - シェルの概要と鉛直荷重載荷実験 -, 日本建築学会大会学術講演梗概集 (構造) B-1分冊, 665-666.
- 平尾和洋, 上田崇博, 井上真澄, 山本直彦 (2006) SMC供試体における物理量 (テクスチャと圧縮強度) と心理量の対応に関する研究, 日本建築学会近畿支部研究報告集 (計画系), 437-440.
- Uetani, K., M. Kobayashi and K. Higuchi (2006) Symmetry limit theory for work-hardening structures in the shakedown region. In: Proceedings of the Fifth International Conference on Behaviour of Steel Structures in Seismic Areas. F. M. Mazzolani and A. Wada (eds.), Taylor & Francis, 549-554.
- Kobayashi, M., K. Uetani and T. Mikami (2006) The occurrence limit of strain nonuniformity of thin-walled cylinders subjected to cyclic torsion, Key Engineering Materials 340-341: 1411-1416.

4. 作品

- 奥貫 隆, 高野裕子: 都市住宅 + 公共施設, 所沢元町北地区市街地再開発造園実施設計, 所沢市, 都市再生機構埼玉地域支社, 2006.3.
- 柴田いづみ, 柴田知彦: 集合住宅 エルザ世田谷設計・監理 (総合設計制度利用の地区開発計画) 東京都世田谷区 2002~2006.
- 柴田いづみ, 柴田知彦: 集合住宅 ブラウド津田沼デザイン監修業務 千葉県船橋市・習志野市 2004~2006.
- 柴田いづみ, 柴田知彦: 集合住宅 ブラウド八事石坂 デザイン監修業務 愛知県名古屋市 2004~2006
- 柴田いづみ, 柴田知彦: 集合住宅 ブラウド新小岩 デザイン監修業務 東京都葛飾区 2004~2006.
- 松岡拓公雄: 伊藤邸 (都市住宅), 基本設計, 実施設計指導, 京都市.
- 松岡拓公雄: 三島ゲストハウス基本設計, 実施設計, 三島市

松岡拓公雄：金田邸（郊外型小住宅），実施設計，池田市。

松岡拓公雄：田無印刷工場，基本構想，東京都。

松岡拓公雄：エコ村エコハウスブロック構想，近江八幡市。

松岡拓公雄他1名：世界救世教東京聖堂コンペ（次点），東京都。

松岡拓公雄／新学科コアチーム：工学部電子システム学科棟基本構想。

岡田哲史、陶器浩一：たいさんじ風花の丘（滋賀県立大学受託研究：依頼者：高島市）：木造新工法（CSS）

岡田哲史、陶器浩一：若葉台の家：木造新工法（甲殻構造）

岡田哲史、陶器浩一：赤羽邸：木造新工法（在来＋枠組壁混合新工法）

宮本佳明、陶器浩一：明石の家 基本設計、実施設計：伝統工法建築の新生再生手法

高柳英明（2006）集合住宅MSA，企画・基本設計，実施設計，愛知県名古屋市，2005 - 2006。

高柳英明、遠藤寛子（2006）集合住宅SH，基本設計，実施設計，愛知県名古屋市，2005 - 2006。

5．報告書，その他著作，一般向け記事

1）科研費他外部研究費による研究の成果報告書

柴田いづみ（2006）平成17年度学術研究助成金，「自然再生に向けての基礎調査」，大阪市立大学（財）有恒会。

布野修司（2006）『ECO-HOUSE-TOWN報告書；発展途上地域（湿潤地帯）の大都市における居住地モデルの開発に関する研究』（科学研究費 基盤（B）2002-2005），2006年3月。

村上修一（2006）河川整備基金助成事業，平成17年度成果報告書，琵琶湖沿岸域における湖岸と人の関わり方の変化についての研究。

高柳英明、服部孝生（2006）東日本旅客鉄道株式会社，2005 - 2006研究報告書，駅環境における効果的なデザインシミュレーションに関する研究。

山本直彦（主査）他5名（2006）住宅総合研究財団，平成17～18年度研究成果報告書，伝統技術を活用した災害仮設住宅の建設技術開発に関する研究 - 左官技術を用いた自助建設型シェル構造ユニット - 。

2）受託研究等の報告書

富島義幸（2006）「地震と木造建築—中世前期にお

ける日本建築技術の一側面—」，『安全・快適・まちづくり』（藤原悌三代表，滋賀県立大学平成15年度特別研究「琵琶湖西岸断層帯を視野に入れた滋賀県および県内各市町村の地震防災対策の再構築」報告書，2006年3月），161-166頁。

小林正実（2006）2000年鳥取県西部地震に学ぶ—建物被害，地盤特性，構法，修理再建，住宅支援—，藤原悌三（研究代表者），平成15～17年度特別研究費，琵琶湖西岸断層帯を視野に入れた滋賀県および県内各市町村の地震防災対策の再構築：73～76。

轟 慎一（2006）滋賀県湖西地域における里山と棚田の景観構造と環境システム，藤原悌三，安全・快適・まちづくり，183-186。

3）新聞，一般向け雑誌等への解説記事など

藤原悌三（2006）「想い」耐震構造から総合防災へそして，いま環境防災，自費出版。

藤原悌三（2006）「一期一会」我が歩み —藤原悌三論文集— 自費出版。

奥貫 隆（2006）「特集：環境科学部の地域貢献と教育・研究／現代GPを活用した地域活性化への貢献」，環境科学部年報第10号，2006.3。

奥貫 隆（2006）湖国景観論／次代に引き継ぐ景観，藤原悌三退官記念論文集，安全・快適・まちづくり，滋賀県立大学環境科学部，2006.3

奥貫 隆（2006）「都市公園と景観形成／美しい公園を考える」，公園緑地VOL.66（社）日本公園緑地協会，2006.1

滝田 順，奥貫 隆（2006）「ノルマンディー豊饒の庭」No1-12，企画・構成，NIKKEI NET Living Style，日本経済新聞デジタルメディア，2006.1-12

奥貫 隆（2006）位置指定道路の管理責任，NIKKEI NET住宅サーチ，日本経済新聞デジタルメディア，2006.4。

奥貫 隆（2006）屋上緑化の不動産価値，NIKKEI NET住宅サーチ，日本経済新聞デジタルメディア，2006.5。

奥貫 隆（2006）マンション建設と近隣協議，NIKKEI NET住宅サーチ，日本経済新聞デジタルメディア，2006.12。

布野修司（2006）「前川国男と戦後近代建築」，『前川国男建築展 図録』，2006年1月。

布野修司（2006）「インド・イスラーム都市論ノート」，『traverse07』traverse編集委員会，京都大学・建築系教室，2006年。

布野修司（2006）「私の環境学：地域の生態系に基

- づく住居システムに関する研究」, 環境科学部年報第10号, 2006年.
- 布野修司 (2006) 「多様性に欠け, 貧困な日本の住まいと家族のあり方」書評西川祐子, 『図書新聞』, 2006年2月12日.
- 布野修司 (2006) 「アジアの都市と集落」, 第七期神楽坂建築塾「講義録」VOL.16, 2006年2月.
- 布野修司 (2006) 「防災と景観—タウンアーキテクトの可能性—」, 藤原悌三退官記念論文集, 2006年3月.
- 布野修司 (2006) 風景のかけら 世界の集落を切りとる 鞍(鞍形屋根), KAJIMA月報, 2006年4月.
- 布野修司 (2006) 都市再生の本質—光と影のはざま—秩序と混沌—「都市組織」と「都市住居」—私にとって都市の魅力, 『建築と社会』, 2006年4月.
- 布野修司 (2006) 私の紙面批評「再び胸を突く「1年前の衝撃」」, 『京都新聞』, 5月14日.
- 布野修司 (2006) インタビュー, 「ヨーロッパ世界観を覆す」, 『世界住居誌』『曼荼羅都市』をめぐって, 日刊建設工業新聞, 5月19日.
- 布野修司 (2006) 私の紙面批評「環境再生は世界共通テーマ」, 『京都新聞』, 6月11日.
- 布野修司 (2006) 書評「山本理顕『住居論』」, 『図書新聞』, 2006年3月12日.
- 布野修司 (2006) CEL
- 布野修司 (2006) 「近代世界システムと植民都市」, 都市計画学会賞受賞に当たって, 『都市計画』262, 2006年8月.
- 布野修司 (2006) 私の紙面批評「滋賀県知事選, 波乱の背景は?」, 『京都新聞』, 7月9日.
- 布野修司 (2006) 「読書アンケート'06上半期」, 図書新聞, 7月23日.
- 布野修司 (2006) 「審査後のモニタリングも必要」, 『日刊建設通信新聞』, 2006年7月20日.
- 布野修司 (2006) 「四面楚歌の建築家はどこへ向かうべき」居酒屋ジャーナル1, 『建築ジャーナル』No.1104, 2006年06月.
- 布野修司 (2006) 建築ジャーナル・コンペ・インタビュー, 「「タウンアーキテクト」が選定方法を決め, 審査すればよい」, 建築ジャーナル』No.1104, 2006年06月.
- 布野修司 (2006) 「伊東豊雄論のためのメモランダム」, 『建築ジャーナル』No.1105, 2006年07月.
- 布野修司 (2006) 「藤森照信に問う」, 『ザ・藤森照信』, X-KnowledgeMook, 8月10日.
- 布野修司 (2006) 私の紙面批評「地域版は教材の宝庫」, 『京都新聞』, 8月13日.
- 布野修司 (2006) 私の紙面批評「防災への意識 紙面で検証を」, 『京都新聞』, 9月10日.
- 布野修司 (2006) 「清溪川「再生」の衝撃」, 『建築ジャーナル』, 2006年10月.
- 布野修司 (2006) 「『室内』から「世界」を斬る」, (『室内』の52年 山本夏彦が残したもの」, INAX出版所収), 2006年9月.
- 布野修司 (2006) 「タウンアーキテクトの可能性その2」, 『建築ジャーナル』, 2006年10月.
- 布野修司 (2006) 「建築が「文化」として共有されるには」居酒屋ジャーナル4, 『建築ジャーナル』, 2006年10月.
- 布野修司 (2006) 私の紙面批評「「景観と観光」掘り下げて」, 『京都新聞』, 10月8日.
- 布野修司 (2006) 「雛芥子の頃」, 著書の解題『神殿か獄舎か』, INAX REPORT No.168, 2006年10月20日.
- 布野修司 (2006) 「書評・『都市・建築の現在』」, 図書新聞, 2006年11月25日.
- 布野修司 (2006) 「nLDKの誕生 近代日本の都市住宅事情」, (『都市の暮らしの民俗学3 都市の生活リズム』, 新谷尚紀, 岩本通弥編, 吉川弘文館所収), 2006年12月.
- 布野修司 (2006) 「読書アンケート'06下半期」, 図書新聞, 12月23日.
- 松岡拓公雄 (2006) 「空水人のビジョン」/空水人/滋賀空調衛生設備協会機関誌.
- 松岡拓公雄 (2006) 「内井昭蔵の教育施設建築」/季刊文教施設23号.
- 大谷弘明、陶器浩一、北条稔朗、古林桂太 (2006): 「積層の家」, STRUCTURE KANSAI, 2006.1 (社)日本建築構造技術者協会, pp.2-3
- 岡田哲史、加藤功、陶器浩一 (2006): 若葉台の家解説 新建築住宅特集 2006.10
- 岡田哲史、陶器浩一 (2006): たいさんじ風花の丘解説 新建築 2006.11
- 陶器浩一、眞田大輔、名和研二 (2006): 対談「普通の材料でつくる」新建築 2006.11
- 今村広太、村上修一 (2006) 琵琶湖湖岸緑地における空間利用についての研究vol.2, 楓, 滋賀県造園技術者協議会発行, 第90号, pp.5-8.
- 村上修一 (2006) 大学は実践教育をとおして地域活性化にいかに関与できるか - 滋賀県立大学「ステューデントファーム近江楽座」の試み, 滋賀の経済と社会, (財)滋賀総合研究所, No.116, pp.36-39.
- 富島義幸 (2006) 平泉の文化遺産をユネスコ世界遺産センターに推薦する文化審議会文化財分科会での決定を受けてのコメント, 毎日新聞 地域のニュース (岩手) (2006年7月22日).

高柳英明, 株式会社AMS (2006) 建築IT -建築現場のプレゼンテーション術-, 日経アーキテクチュア 2006 6-12号(第824号)、80-81.

高柳英明 (2006) アーキファイル&ディテール 2006, 日経アーキテクチュア2006 3-20号(第816号)、88-89.

山本直彦 (2006) 研究の風景「滋賀県立大学山本直彦研究室」, 建築と社会2006年7月号, 日本建築協会, 18-19.

山本直彦 (2006) 「私の環境学: 地域性を取り入れた新たな試みへ」, 環境科学部年報第10号, 2006年3月.

6. 学会等への発表

柴田いづみ (2006) 第6回mAAN 国際会議2006 「our modern / われらがモダン: アジア都市遺産を再認識する」第2セッション議長 mAAN (アジア近代建築ネットワーク) 2006.11.1~5.

水原 渉 (2006) ドイツにおける戦略的環境アセスメント制度の導入 - 都市計画での適用, 日本建築学会2005年度大会 (関東) 学術講演梗概集 (都市計画), 2006.09.09 (発表番号7299).

三品実穂 (フリー)・水原 渉 (2006) 新田集落における町並み景観と住民意識に関する研究 - 滋賀県能登川町栗見出在家を事例にして, 2006.09.08 (発表番号6040).

Shuji Funo (2006) Colonial Urban Heritage and Asian Urban Traditions, Urban-Cultural Research Center, Graduate School of Literature and Human Sciences, The 21st Century COE Program, International Symposium, Osaka City University, 1st Oct., 2006:大阪市立大学大学院文学研究科, COE国際シンポジウム 2006年10月1日.

Shuji Funo (2006) Towards an Architecture based on Vernacular Values in the Regions: On Paradigm of Asian Studies for Architecture and Urban Planning, Keynote Speech, The 6th International Symposium on Architectural Interchange in Asia, "A+T: Neo-Value in Asian Architecture", October 25-28, 2006, Daegu Convention Center, Daegu, Korea.

Nawit Ongsavangchai, Shuji Funo (2006) Formation and Transformation of Shop houses in Khlong Suan Market Town: Proceedings Volume I, pp.9-14: The 6th

International Symposium on Architectural Interchange in Asia, "A+T: Neo-Value in Asian Architecture", October 25-28, 2006, Daegu Convention Center, Daegu, Korea.

Chung-Shin Park, Sung-Min Cho, Shuji Funo (2006) Formation and Residential Quarter Organization of a Korean Resident Village in UTORO of Kyoto, Japan: Poster Sessions, PS1-6: The 6th International Symposium on Architectural Interchange in Asia, "A+T: Neo-Value in Asian Architecture", October 25-28, 2006, Daegu Convention Center, Daegu, Korea.

Yusuke Nakagawa, Masahiro Maeda, Shuji Funo (2006) Consideration on Actual Conditions and Reconstruction Process of JAYAGATO PURA (Moratua, Sri Lanka) Damaged By Sumatra Earthquake and Indian Ocean Tidal Wave in 2004: Poster Sessions, PS1-12: The 6th International Symposium on Architectural Interchange in Asia, "A+T: Neo-Value in Asian Architecture", October 25-28, 2006, Daegu Convention Center, Daegu, Korea.

Masahiro Maeda, Yusuke Nakagawa, Shuji Funo (2006) Consideration on Actual Conditions and Issues of Settlements in South West coast of Sri Lanka Damaged By Sumatra Earthquake and Indian Ocean Tidal Wave in 2004: Poster Sessions, PS1-12: The 6th International Symposium on Architectural Interchange in Asia, "A+T: Neo-Value in Asian Architecture", October 25-28, 2006, Daegu Convention Center, Daegu, Korea.

Kyota Yamada, Masahiro Yamada, Shuji Funo (2006) Considerations on Spatial Formation and Transformation in Pettah (Colombo, Sri Lanka): Proceedings Volume I, pp.541-548: The 6th International Symposium on Architectural Interchange in Asia, "A+T: Neo-Value in Asian Architecture", October 25-28, 2006, Daegu Convention Center, Daegu, Korea.

Shu Yamane, Shuji Funo, Takeshi Ikejiri (2006) Space Formation and Transformation of the Urban Tissue of Old Delhi, India: Proceedings Volume I, pp.549-554: The 6th International Symposium on Architectural Interchange in Asia, "A+T: Neo-Value in Asian Architecture",

- October 25-28, 2006, Daegu Convention Center, Daegu, Korea.
- 田島喜美恵, 畑中久美子, 布野修司 (2006)「パキスタン地震における仮設住宅"1 + α temporary housing"の提案と実施について」, pp.185-186, 日本建築学会学術講演会梗概集, 神奈川大学, 2006年9月7日～9日.
- 中川雄輔, 前田昌弘, 布野修司 (2006)「コロンボ近郊における津波被災シャント・セトルメントの復興過程 その1 スリランカにおける居住政策の変遷と津波復興政策の位置づけ」, pp.195-196, 日本建築学会学術講演会梗概集, 神奈川大学, 2006年9月7日～9日.
- 前田昌弘, 中川雄輔, 布野修司 (2006)「コロンボ近郊における津波被災シャント・セトルメントの復興過程 その2 沿岸居住地の被害状況と復興の実態」, pp.197-198, 日本建築学会学術講演会梗概集, 神奈川大学, 2006年9月7日～9日.
- 朴重信, 趙聖民, 金泰永, 布野修司 (2006)「日本植民地期における韓国の河川の日本人移住漁村について その1 密陽の三浪津邑の事例」, pp.197-198, 日本建築学会学術講演会梗概集, 神奈川大学, 2006年9月7日～9日.
- 趙聖民, 朴重信, 布野修司 (2006)「韓国密陽市三浪津邑鉄道官舎の形成と空間変容に関する考察—三浪津鉄道官舎の形成と空間変容を中心として—」, pp.139-140, 日本建築学会学術講演会梗概集, 神奈川大学, 2006年9月7日～9日.
- 今村広太 (2006)「アクセス性からみた琵琶湖湖岸緑地と隣接集落とのつながりについての研究」, 平成18年度日本造園学会全国大会, 大阪芸術大学, 2006年5月21日.
- 今村広太, 村上修一 (2006)「琵琶湖湖岸緑地における空間利用についての研究」, 平成18年度日本造園学会全国大会分科会, 大阪市, 2006年5月22日.
- 村上修一 (2006)「第3会場第1セッション「利用者の行動と利用の調査が公園緑地の活性化につながるために」座長」, 平成18年度日本造園学会全国大会研究発表会, 大阪芸術大学, 2006年5月21日.
- 村上修一 (2006)「大学における地域連携型の実践教育プログラムが地域再生にもたらす効果と課題について」- 滋賀県立大学「ステューデントファーム近江楽座」を事例として, 平成18年度日本建築学会全国大会研究発表会, 都市計画部門オーガナイズドセッション - 都市と大学の連携による都市・地域の再生, 神奈川大学, 2006年9月7日.
- 富島義幸 (2006)「平泉柳之御所遺跡の建築についての一考察」, 岩手県教育委員会 第6回平泉文化フォーラム, 於一関市ダイヤモンドパレス, 2006年2月19日.
- 富島義幸 (2006)「現世と浄土をつなぐ景観——平等院鳳凰堂仏後壁画の解釈をめぐって——」, 第4回考古学と中世史シンポジウム, 於帝京大学山梨文化財研究所, 2006年7月1日.
- 富島義幸 (2006)「柳之御所遺跡の建築について」, 平泉・衣川遺跡群研究会 柳之御所遺跡検討会, 於平泉郷土館, 2006年12月2～3日.
- 宮沢千顕, 倉山千春, 伊丹 清, 田代達一郎, 赤坂裕 (2006)「開口部の遮熱性能の計算法～その10 窓-RC造外壁間の線熱貫流率計算結果と考察～」, 日本建築学会大会学術講演梗概集2006(環境工学2).
- 伊丹 清, 澤田篤徳 (2006)「開口部の遮熱性能の計算法～その11 斜め入射に対する検討(その1 計算法)～」, 日本建築学会大会学術講演梗概集2006(環境工学2).
- 澤田篤徳, 伊丹 清 (2006)「開口部の遮熱性能の計算法～その11 斜め入射に対する検討(その2 計算結果)～」, 日本建築学会大会学術講演梗概集2006(環境工学2).
- 山本直彦 (2006)「建築計画学における海外集落研究の諸問題」, 日本建築学会大会(関東)建築計画部門研究懇談会「建築計画, その可能性の中心 - 建築計画は集落を超えることができるか」, 9月7日.
7. 研究会等, 講演会, 特別講義での発表
- 1) 研究会等における発表
- 奥貫 隆, 近藤隆二郎, 村上修一, 錦澤滋雄, 高橋卓也, 野間直彦, 石川慎治, 徳満勝久, 河崎澄, 黒田末壽, 濱崎一志 (2006)「ステューデントファーム「近江楽座」-まち・むら・くらしふれあい工舎"ワークショップ」, 2006.3.23.
- 奥貫 隆, 奥野 修 (2006)「地域再生人材創出拠点の形成プログラム」10大学事業説明会報告, 独立行政法人科学技術振興機構, 2006.6.8.
- 奥貫 隆 (2006)「佐々木葉二, 杉本正美, 増田 昇, 松久喜樹, 宮城俊作: 関西ランドスケープ7 大学展2006講評会」, 京都市中央区元立誠小学校, 2006.10.29.
- 柴田いづみ (2006)「防災・耐震・まちづくりフォーラム」京都大学+滋賀県立大学 2006.2.4.
- 柴田いづみ (2006)「防災・耐震・まちづくりフォーラム」京都大学+滋賀県立大学 2006.3.12.
- 柴田いづみ (2006)「第1回防災・耐震・まちづくりフォーラム2006」京都大学+滋賀県立大学+

NPO彦根景観フォーラム他 防災・耐震・まちづくりフォーラム実行委員会実行委員長2006.11.12.

柴田いづみ(2006)「防災・耐震・まちづくりフォーラム2006, まち歩き」, 京都大学+滋賀県立大学+NPO彦根景観フォーラム他 防災・耐震・まちづくりフォーラム実行委員会実行委員長2006.11.23.

柴田いづみ(2006)「第2回防災・耐震・まちづくりフォーラム2006」京都大学+滋賀県立大学+NPO彦根景観フォーラム他 防災・耐震・まちづくりフォーラム実行委員会実行委員長2006.12.3.

柴田いづみ(2006)「防災・耐震・まちづくりフォーラム, 木造伝統構法彦根研究会」京都大学+滋賀県立大学+NPO彦根景観フォーラム他 防災・耐震・まちづくりフォーラム実行委員会実行委員長2006.12.18.

水原 渉(2006)ドイツにおける戦略的環境検査の展開-EUの計画・プログラム環境検査指令とドイツでの国内法化, およびその実践, 開発代償研究会拡大研究会, (2006.06.01).

布野修司(2006)日本建築学会建築計画委員会春季研究集会, 「都市・建築の再生と建築計画—韓国ソウルの清溪川復元と近・現代建築—」, 主催, ソウル, 漢陽大学, 2006年6月2日~4日.

布野修司(2006)歴博共同研究第一回研究会「アジア都市建築研究の課題」, 国立歴史民俗博物館, 2006年6月17日~18日.

布野修司(2006)日本建築学会建築計画部門・研究懇談会, 「建築計画, その可能性の中心—建築計画は集落を超えることが出来るか—」: コメンテーター, 2006年9月7日.

布野修司(2006)日本建築学会建築計画部門・研究協議会, 「プロトタイプからプロトコルへ—21世紀の建築計画学のあり方を展望する—」: 主旨説明, 2006年9月7日.

山本直彦(2006)バンダ・アチェ市における復興段階への移行と住宅供給プロセス, 研究フォーラム「2004年インド洋地震津波災害被災地の現状と復興への課題 II」, 国立民族学博物館, 1月8日.

山本直彦, 小澤雄樹(2006)伝統技術を用いた災害仮設住宅—京都の左官技術を用いた被災者による自助建設の野可能性—, 第2回文化遺産防災シンポジウム「文化遺産の防災-防災まち(地域)づくりをめざして-」, 立命館大学, 2006年12月19日.

山本直彦(2006)インドネシア・バンダアチェ市におけるスマトラ沖地震後の住宅復興, 第4回関西地震防災研究会, 9月16日.

2) 講演会

奥貫 隆(2006)「土地利用と景観」滋賀県用地対策連絡協議会講演会: 2006.6.21.

柴田いづみ(2006)クラブ卓話 長浜東ロータリークラブ「個の総体がまちをつくる(長浜バージョン)」, 2006.5.16.

柴田いづみ(2006)全国都市再生まちづくり会議2006 全国都市再生まちづくり会議事務局 東京都 2006.8.5, 6.

柴田いづみ(2006)環境建築連続セミナー2006「東京エコシティ---水の都市の再生に向けて」パネルディスカッション JIA(日本建築家協会) 2006.9.30.

柴田いづみ(2006)倉敷市景観フォーラム「都市景観を創る?理念実現と担い手はいかにあるべきか」シンポジウム 岡山県倉敷市 2006.10.4.

柴田いづみ(2006)中央講座「安全・安心な社会を支える先端技術」講演「すまいの安全・安心」日本技術士会 2006.10.28.

柴田いづみ(2006)JIA建築家大会2006奈良 時を紡ぐ~千三百年を継承するテクノロジー~まちづくり円卓会議「まちへ出でよ...その活動現場から」 JIA(日本建築家協会) 奈良県奈良市 2006.11.10.

布野修司(2006)パネル・ディスカッション, 布野修司, 鬼頭梓, 林昌二, 松山巖: 「前川國男のモダニズム」, 東京海上火災ビル, 2006年01月19日.

布野修司(2006)日独シンポジウムJapanese-German Symposium『持続可能なコミュニティとエコ建築Sustainable Communities and Ecological Building』, ドイツ連邦環境省・滋賀県・NPO法人エコ村ネットワーク主催, 基調講演, 布野修司「日本とアジアにおけるエコ建築とエコ・コミュニティ: 過去・現在・未来」, コラボしが21, 2006年02月13日.

布野修司(2006)シンポジウム「大震災からの復興への道のり—パキスタン大地震・阪神淡路大震災・インド洋大津波—」布野修司「インド洋大津波調査と復興支援」 大阪市中央公会堂 地階展示室, 2006年04月28日.

布野修司(2006)鯨の会講演会 裸の建築家/タウンアーキテクトの可能性」, 2006年5月26日.

布野修司(2006)宮内嘉久著『前川國男 賊軍の将』合評会, 司会, 国際文化会館, 東京, 2006年7月29日.

布野修司(2006)講演会・シンポジウム「関西の三奇人ふたたび」, 安藤忠雄, 渡辺豊和他, 一心寺・日猷殿, 2006年9月16日.

布野修司（2006）シンポジウム，「それぞれにとっての前川罔男」，松隈洋，松山巖，布野修司，京都造形大学，2006年12月2日。

布野修司（2006）歴博国際シンポジウム2006「日韓比較建築文化史の構築—宮殿・寺廟・住宅—」，国立歴史民俗博物館，2006年12月12日～13日。

布野修司（2006）基調講演「東南アジアの住まいの様相」，シンポジウム「アジアの住まい1」，日本建築学会，東洋建築史小委員会，2006年12月16日。

松岡拓公雄（2006）JIAプロフェッションスクール 2005/06年2月3日「アトリエでの設計」。

松岡拓公雄（2006）「宇治の景観」宇治ロータリークラブ講演 06年10月。

陶器浩一（2006）：「構造技術が拓く建築空間の可能性」日本大学大学院特別講演：2006.01.13

大谷弘明、陶器浩一：「積層の家」，JIA近畿支部住宅部会 講演会 2006.03.03

陶器浩一（2006）：「構造デザインについて」，社団法人滋賀県建築設計家協会 財団法人滋賀県建築住宅センター 主催 講演会 2006.03.08

大谷弘明、陶器浩一（2006）：「積層の家」，PC技術講習会 社団法人日本プレストレストコンクリート技術協会主催 2006.6.2

陶器浩一（2006）：構造計画について JIAオープンスクール 社団法人日本建築家協会主催 2006.9.13

陶器浩一（2006）：普通の材料で創る 第123回新構法開発研究会 2006.9.15

陶器浩一他（2006）：滋賀県建築士会女性部会 伝統工法勉強会 2006.10.14

表谷篤慶，村上修一，仁連孝昭（2006）まちづくり構想報告「長浜米原まんなかまちづくり構想 - コンパクト・コミュニティをめざして - 」，長浜米原まんなかまちづくりシンポジウム，長浜，2006年12月2日。

伊丹 清（2006）ライフライン被害と市民の接点から見たまちの安全性，滋賀県設備事務所協会・（社）滋賀県空調衛生設備協業協会 合同会員研修会，ウェルサンピア滋賀，2006年11月22日。

3）授業

藤原悌三（2006）最終講義：見える美しさ，見えないうちの大切さ，環境科学部講義室，2006年2月3日。

柴田いづみ（2006）耐震診断調査（指導・助言），彦根工業高校建築科 滋賀県彦根市河原 2006.6～。

水原 渉（2006）環境問題を考える - 環境をどう捉

え，どう扱っていけば良いのだろうか，塔南高校（京都）模擬講義，2006.08.11。

村上修一（2006）来訪者が興味をもつ景観要素について，平成18年度グリーンツーリズムデザイナー育成講座，NPO法人HCCグループ，ウッディパル余呉，2006年11月10日。

高柳英明（2006）慶応大学大学院COE特別講義-人の動きをデザインする-，慶応大学COEプログラム，2006年11月16日

伊丹 清（2006）建築士のための指定講習会 室内環境，（社）滋賀県建築士協会，ピアザ淡海，2006年2月24日。

8．展覧会等

柴田いづみ（2006）建築家5人展 建築家展（アーキテクツギャラリー）JIA（日本建築家協会）東京都渋谷区 2006.11.24～30。

9．競争的研究資金の導入

1）本学特別研究

藤原悌三：滋賀県立大学環境科学部特別研究「滋賀県におけるまちなみ保全・創出と安全・快適住宅創出に関する研究」（第3年度）。

水原 渉，野間直彦，籠谷泰行，石川義紀，村上修二，矢部勝彦，高橋卓也：共同重点，平成16年度～18年度，117万3000円。

秋山道雄，土井崇司，近藤隆二郎，迫田正美，轟 慎一，亀田彰喜：特別研究，公共交通とまちづくりに関する地域学的研究，平成16～17年度，167.4万円。

轟 慎一：奨励研究，地方都市の街なか・郊外居住と持続可能性に関する計画論的研究 - 少子高齢時代における市街地再編と都市再生 - ，平成18年度，50万円。

2）科学研究費補助金

布野修司：科学研究費補助金，基盤研究（B），「アジア諸都市の都市組織と都市型住宅のあり方に関する研究」（課題番号18360295），2006～2009年度，430万円（2006年度）。

布野修司：科学研究費補助金，研究成果公開促進費，学術図書，「Stupa & Swastika」（課題番号185326），450万円（2006年度），京都大学学術出版会。

村上修一：歴史的固定堰の親水空間としての可能性についての研究，一般研究（基盤C），2006年度，90万円。

富島義幸：平成18年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号185323。

渡辺秀俊，高橋正樹，林田和人，佐野友紀，高柳英明：ロボットと人間が共存するための建築空間の計画要件，文部科学省科学研究費-基盤(C)，平成17-19年度，160万円。

山本直彦：オランダ領東インドにおける統一都市計画法成立以前の都市計画実態に関する研究，若手研究（B），70万円。

3）政府および地方公共団体（関連法人を含む）からの補助金

奥貫 隆，松岡拓公雄，濱崎一志，印南比呂志，近藤隆二郎，村上修一：「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」スチューデントファーム"近江楽座"，文部科学省，2004～2006，1350万円（2006年度）。

奥貫 隆，曾我直弘，布野修司，松岡拓公雄，村上修一，仁連孝昭，秋山道雄，鶴飼修，山根浩二，濱崎一志，黒田末壽，奥野修，上田洋平：「地域再生人材創出拠点の形成」プログラム，「近江環人地域再生学座」，文部科学省，2006～2010，2500万円（2006年度）。

柴田いづみ：平成18年度市民活動団体等支援総合事業 内閣府 まちの継続in彦根 - 防災・耐震・まちづくりフォーラム2006 - 。

松岡拓公雄他：木造建築，木造文化の継承発展および木造文化を基礎とした地域再生をめざす総合的な研究，教育，実践プログラムの構築，平成18年度，100万円，滋賀県。

陶器浩一，岡田哲史，今井隆志：平成18年度 国土交通省建設技術研究開発助成制度：耐震性に優れ，狭小間口で自由な建築空間を可能にする木造新工法，平成18年～19年度，1050万円

4）その他財団からの研究補助金

柴田いづみ：自然再生に向けての基礎調査 平成17年度 30万円 大阪市立大学(財)有恒会。

布野修司：住宅総合研究財団研究助成，「スペイン植民都市の起源・変容・転成・保全に関する研究」（研究番号0602），2006年6月1日～2007年10月31日，180万円。

村上修一：琵琶湖岸景観の保全に対する地域住民の

活動の有効性に関する研究，河川整備基金助成，（財）河川環境管理財団，2006年6月～2007年5月，69万円。

末富孝也，秦憲志，奥野修，浅野智子，戸谷秀子，永橋為介，西本和正，澤哲男，村上修一：大津・志賀地域協働街づくり研究，日本都市計画学会関西支部「都市計画研究会」助成，2006年4月～2007年3月，10万円。

山本直彦（主査）他5名：伝統技術を活用した災害仮設住宅の建設技術開発に関する研究，住宅総合研究財団，45万円。

10．研究員の受入

布野修司，朴重信，学術振興会特別研究員，2005年10月～2007年9月。

布野修司，ホアン・ヒメネス・ベルデホ，学術振興会特別研究員，2006年4月～2008年3月。

11．社会への貢献

1）各種委員会等

藤原悌三（2006）土砂災害防止対策委員会，1/31。

藤原悌三（2006）学校建築耐震診断委員会，2/22。

藤原悌三（2006）耐震診断委員会，3/28。

奥貫 隆（2006）現代的教育ニーズ取組選定委員会第4部会（持続可能な社会につながる環境教育の推進），委員，文部科学省。

奥貫 隆（2006）滋賀県国土利用審議会，委員，滋賀県。

奥貫 隆（2006）滋賀県みずすまし構想推進委員会景観保全専門部会，会長，滋賀県。

奥貫 隆（2006）美しいしがのふるさとづくりコンクール選定委員会，委員，滋賀県。

奥貫 隆（2006）守りたい育てたい湖国の自然100選選定委員会，委員，滋賀県。

奥貫 隆（2006）滋賀県東北部浄化センター造成計画検討懇話会，委員長，滋賀県。

奥貫 隆（2006）滋賀県土木交通部指定管理者選定委員会，委員，滋賀県。

奥貫 隆（2006）大津市都市計画部指定管理者選定委員会，委員，大津市。

奥貫 隆（2006）長浜市建築審査会，会長，滋賀県長浜市。

奥貫 隆（2006）大津市風致保全に関する懇話会，委員，滋賀県大津市。

奥貫 隆（2006）大津市景観審議会，副会長，滋賀

県大津市。
奥貫 隆 (2006) 自然環境アドバイザー, 国土交通
 省近畿地方整備局。
奥貫 隆 (2006) 彦根市景観アドバイザー, 彦根市。
奥貫 隆 (2006) 都市再生機構, 浜甲子園デザイン
 協議会, 委員, 都市再生機構関西支社。
奥貫 隆 (2006) 関西ランドスケープ7大学展実行
 委員会, 委員。
柴田いづみ (2006) 文化庁文化審議会文化財分會第
 二専門調査会 文化庁。
柴田いづみ (2006) 河川保全利用委員会 国土交通
 省琵琶湖河川事務所。
柴田いづみ (2006) 現代的教育ニーズ取組選定委員
 会におけるペーパーレフェリー 文部科学省。
柴田いづみ (2006) 都市計画協会常任理事 (財)
 都市計画協会。
柴田いづみ (2006) 淡海環境保全財団理事会理事
 (財)淡海環境保全財団。
柴田いづみ (2006) (NPO法人) 東京いのちのポー
 タルサイト理事会理事。
柴田いづみ (2006) (NPO法人) 太陽光発電をすす
 める大津市民の会 (ソーラーおおつ) 理事。
柴田いづみ (2006) (NPO法人) 彦根景観フォーラ
 ム副理事長。
柴田いづみ (2006) ネット社会と子ども達協議会副
 運営委員長 東京都 3回。
柴田いづみ (2006) 滋賀県土地利用審査会委員 滋
 賀県。
柴田いづみ (2006) 滋賀県公共事業評価監視委員会
 委員 滋賀県1回。
柴田いづみ (2006) 滋賀県施設・事業仕分け会議委
 員 滋賀県2回。
柴田いづみ (2006) 史跡観音寺城跡整備基本構想・
 基本計画策定委員会 滋賀県安土城城郭研究所。
柴田いづみ (2006) 彦根市都市景観審議会 彦根市。
柴田いづみ (2006) 彦根市景観計画策定委託業者選
 定委員会 彦根市2回。
柴田いづみ (2006) 彦根市都市計画マスタープラン
 策定委員会。
柴田いづみ (2006) 近江八幡市観光振興計画策定委
 員会 近江八幡市。
柴田いづみ (2006) 安土・八幡文化的景観保存活用
 委員会副委員長 近江八幡市。
柴田いづみ (2006) 長浜市都市計画審議委員 長浜
 市。
柴田いづみ (2006) 長浜市商店街活性化検討委員
 長浜市産業経済部。
柴田いづみ (2006) 湖南省都市マスタープラン・国

土利用計画委員会委員長 湖南省 1回。
柴田いづみ (2006) 湖南省都市計画審議会 湖南省
 1回。
柴田いづみ (2006) 唐津市「蕨野の棚田」保存管理
 計画策定委員会委員 佐賀県唐津市 1回。
水原 渉 (2006) 彦根市建築審査会 会長 彦根市。
水原 渉 (2006) 大津市開発審査会 会長 大津市。
水原 渉 (2006) 大津市建築審査会 委員 大津市。
水原 渉 (2006) (社) 滋賀県建築士会継続能力開
 発 (CPD) プログラム評議員会 会長 滋賀県建
 築士会。
水原 渉 (2006) (社) 滋賀県建築士会専攻建築士
 評議会 会長 滋賀県建築士会。
水原 渉 (2006) 滋賀自治体問題研究所 理事長。
水原 渉 (2006) 東近江市あいとうウェストランド
 土地利用研究会 座長。
水原 渉 (2006) 大津市住宅マスタープラン改定検
 討委員会 委員長。
水原 渉 (2006) 新建築家技術者集団滋賀支部 代
 表幹事。
布野修司 (2006) 文化庁文化遺産国際協力コンソー
 シウム委員。
布野修司 (2006) 国際技能振興財団専務理事。
布野修司 (2006) 米原市駅周辺整備ヴィジョン策定
 委員会 (座長)。
布野修司 (2006) 宇治市都市計画審議会 (会長)。
布野修司 (2006) 宇治市都市景観審議会委員。
布野修司 (2006) 淀川水系宇治川河川利用委員会委
 員。
布野修司 (2006) 塔の島地区河川整備に関する検討
 委員会委員。
布野修司 (2006) 大阪府警察金岡単身寮整備等事業
 の係る選定事業者審査委員会委員。
布野修司 (2006) しまね景観賞委員会委員。
布野修司 (2006) 大橋川周辺まちづくり検討委員会
 (副委員長)。
松岡拓公雄 (2006) ガラス再資源協議会副会長, 2回。
松岡拓公雄 (2006) 彦根市都市景観審議会委員, 2回。
松岡拓公雄 (2006) 宇治市都市景観審議会会長, 5回。
松岡拓公雄 (2006) 京都CDL ユニットマスター,
 1回。
松岡拓公雄 (2006) 京都CDLみてきてつくって審
 査委員, 1回。
松岡拓公雄 (2006) 高月町コミュニティバス検討委
 員, 4回。
松岡拓公雄 (2006) 団地再生協議会委員, 3回
松岡拓公雄 (2006) 大沢池環境再生計画委員会副委
 員長, 2回。

松岡拓公雄（2006）札幌市モエレ沼公園運営会議，1回。

松岡拓公雄（2006）滋賀県協働部活プロジェクト／ウッドマイレージ会議，3回。

陶器浩一（2006）滋賀県学校建築耐震判定委員会副委員長。

陶器浩一（2006）滋賀県開発許可基準等調査検討委員会 学識経験者部会委員。

陶器浩一（2006）（財）日本建築総合試験所 建築物構造性能評価委員会 委員。

陶器浩一（2006）大阪府下行政連絡協議会 建築確認アドバイザー委員。

陶器浩一（2006）大阪建築コンクール 審査委員。

村上修一（2006）大津市長等地区都市水路計画協議会コーディネーター，大津市，1回。

村上修一（2006）長等商店街振興組合への専門知見提供，大津市，2回。

村上修一（2006）浜大津手しごとと市場実行委員会への専門知見提供，大津市，2回。

村上修一（2006）大津・志賀地域協働街づくり研究会委員，大津市，2回。

村上修一（2006）山田21まちづくり推進委員会への専門知見提供，草津市，6回。

村上修一（2006）コトナリエ実行委員会への専門知見提供，東近江市，5回。

村上修一（2006）五箇荘地区まちづくり協議会への調査協力，東近江市，2回。

村上修一（2006）長浜米原まんなかまちづくり協議会への専門知見提供，長浜市・米原市，3回。

村上修一（2006）三津海瀬土地利用委員会への専門知見提供，彦根市，1回。

村上修一（2006）関西ランドスケープ7大学展実行委員会，京都市，2回。

富島義幸（2006）草津市文化財保護審議会委員。

富島義幸（2006）愛知川町史執筆委員。

伊丹 清（2006）窓のエネルギー性能評価指標研究プロジェクト 委員，（社）リビングアメニティ協会，2005年4月～，5回。

伊丹 清（2006）ISO/TC163/SC2対応WG 委員，建築・住宅国際機構，2003年6月～，4回。

轟 慎一（2006）草津市都市計画マスタープラン策定委員会委員，草津市。

2) 学会貢献

柴田いづみ（2006）（社）日本建築士会連合会 情報・広報委員会委員 9回。

水原 渉（2006）日本建築学会，都市計画委員会

環境地域計画システム小委員会 委員。

布野修司（2006）日本建築学会建築計画委員会（委員長）。

布野修司（2006）日本建築学会アジア建築交流委員会（委員長）。

布野修司（2006）日本建築学会英文論文集JAABE（Journal of Asian Architecture and Built Environment）委員会（委員長 Field Editor）。

布野修司（2006）日本建築学会学会賞（業績賞）部長。

松岡拓公雄（2006）日本建築学会司法支援委員会委員，2回。

陶器浩一（2006）日本建築学会 シェル小委員会鉄筋コンクリート系厚肉床壁構造設計施工WG委員。

陶器浩一（2006）日本建築学会 Student Summer Seminar コンテスト審査員。

陶器浩一（2006）日本建築学会 関東支部構造デザインテキスト作成委員会委員。

陶器浩一（2006）日本建築学会 作品選奨選考委員会 委員。

陶器浩一（2006）日本建築学会 設計競技事業委員会 委員。

村上修一（2006）日本造園学会 学術委員会委員，論文集校閲委員会委員。

富島義幸（2006）日本宗教文化史学会，編集委員。

富島義幸（2006）建築史談話会，幹事。

高柳英明（2006）日本建築学会 建築計画委員会 空間研究小委員会シンポジウムWG 委員。

高柳英明（2006）日本建築学会 情報システム委員会 AIディレクトリ構築WG 委員。

山本直彦（2006）日本建築学会計画委員会比較居住文化小委員会 幹事。

小林正実（2006）日本建築学会 不均質・混合体の数理解析手法小委員会委員，1回。

小林正実（2006）日本建築学会近畿支部 災害対応ネットワーク委員。

轟 慎一（2006）日本造園学会校閲委員

3) 国際貢献

松岡拓公雄（2006）ベネチアビエンナーレ日本館オープニングセレモニー招待参加／9月7日。

松岡拓公雄（2006）IBAエムシャーパークエントリ－2006参加／ツアルファライン／10月17日。

松岡拓公雄（2006）ドイツ連邦建設省「団地再生シンポジウム」／ライネフェルデ／10月19日。

富島義幸（2006）東アジア建築文化国際会議京都

2006, 実行委員.

12. マスメディアとの対応

1) 新聞, 雑誌等からの取材による記事

藤原悌三 (2006) 中日新聞「琵琶湖と環境」12回シリーズ 地震防災と市民の力, 風光明媚の国—日本の自然災害 剛柔論争—耐震構造の歴史 建築基準法—安全の指標 建物と地盤特性—地面の揺れ方 ソフト防災—強い建物から安全な町づくりへ 世界の災害を軽減する—日本の役割 学校の耐震—避難所の運営 被害推定—東南海地震と琵琶湖西岸断層帯の地震 自助公助共助—私有財産と社会資産 地域のリスク—危険な地域から防災対策を 児童に学ぶ地震への備え—瀬田小学校の事例 環境機能論—建築組織の責任.

奥貫 隆 (2006) 稲村神社春季例大祭環境フィールドワークプレス説明会, 京都新聞社, 中日新聞社ほか, 2006.4.12.

奥貫 隆 (2006) 滋賀県立大学現代GP"スチューデントファーム「近江楽座」-まち・むら・くらしふれあい工舎"平成18年度プロジェクト募集プレス説明会, 朝日新聞社, 読売新聞社, 中日新聞社, 産経新聞社, 京都新聞社ほか, 2006.4.24.

柴田いづみ (2006) 商店街活動に「防災加えて」彦根の商店主30人が参加 専門家から学ぶ 京都新聞 2006.2.5.

柴田いづみ (2006) 滋賀大地域連携センターと県立大 商店街に研究室「市民と交流を」 中日新聞 2006.2.9.

柴田いづみ (2006) 住宅の耐震補強について考える 彦根でシンポ 京都新聞電子版 2006.3.12.

柴田いづみ (2006) 住宅の耐震補強について考えた「防災・耐震・まちづくりフォーラム」彦根でシンポ 京都新聞 2006.3.13.

柴田いづみ (2006) はばたけ滋賀っ子 新病院飾る立体作品に 近江八幡の子ら 琵琶湖の魚模型 紙粘土で作った 朝日新聞 あいあいAI滋賀 2006.3.15.

柴田いづみ (2006) 町家を無料耐震診断, 実習と地域防災に 京都新聞電子版 2006.3.20.

柴田いづみ (2006) 町家を無料耐震診断 旧城下町で実習と地域防災に 京都新聞 2006.3.20.

柴田いづみ (2006) 彦根の町家地理情報システムに集約 耐震, 景観保全活動へ 京都新聞 2006.3.23.

柴田いづみ (2006) 耐震診断まかせて 彦根工業高生が商店街で町家実測実習 中日新聞電子版 2006.6.10.

柴田いづみ (2006) 耐震診断まかせて 商店街で彦根工業高生が実習 中日新聞電子版 2006.6.10.

柴田いづみ (2006) 黒壁スクエアの成功学ぶ 県立大環境科学部 特別講義「長浜のまちづくり」読売新聞 2006.6.13.

柴田いづみ (2006) 「耐震補強工事安価な手法を」学者・NPOがシンポ 日本経済新聞 2006.6.18.

柴田いづみ (2006) 耐震診断調査にチャレンジ 読売新聞 2006.6.27.

柴田いづみ (2006) 町家を対象に簡易耐震診断 地域の防災強化に一役 中日新聞 2006.8.7.

柴田いづみ (2006) アートで街いきいき 県立大環境科学部「柴田いづみ研究室」「八幡堀まつり」初の試み 読売新聞 2006.6.26.

柴田いづみ (2006) 地震に強い家訴える 彦根でまちづくりフォーラム 読売新聞 2006.12.13.

松岡拓公雄 (2006) 「環境建築デザイン」西日本新聞研究最前線コラム.

松岡拓公雄他7名 (2006) 座談会: テーマ「内井昭蔵の教育施設」.

今村広太, 井上友彩, 木村真也, 正田香澄, 村上修二 (2006) 「児童とヨシあんどん作り・県立大」読売新聞しが県民情報, 2006年2月21日.

今村広太, 井上友彩, 木村真也, 正田香澄, 村上修二 (2006) 「コトナリエ・イルミネーション・デザイン」毎日新聞, 2006年8月3日, 産経新聞, 2006年8月8日, 中日新聞, 2006年8月11日.

森田一弥, 山本直彦他5名 (2006) マイチャレンジ「左官材料だけで自立する空間を - 厚さ4mmで80kgの重さに耐える」, 日経アーキテクチュア (52-53) 2006年4月24日号.

2) TV, ラジオ番組への出演等

柴田いづみ (2006) M7, 8の脅威~琵琶湖西岸断層が動くとき~ NHK大津放送局 地上波デジタル放送開始1周年記念特別番組 NHK 2006.4.7.

布野修司 (2006) 対談, 「菅原文太 日本人の底力」, 菅原文太, ニッポン放送, 2006年12月3日放送.